

障害学生支え合い4年
原発耐震安全性を聞く
伊方でワカメ漁最盛期
道後温泉駅舎映像投映

6 5 3 3

高地合宿施設案が有力
中国主導銀参加に含み
白鵬の連勝36で止まる
春の甲子園きょう開幕

28 27 19 8

一緒に学び一緒に成長

障害の学生と卒業の喜び分かち合う

4年間一緒に学び、成長しました。2012年1月に松山大の学生有志らで発足した「障がい学生支援団体POP」の発足当初のメンバーが20日、支援してきた同級生とともに卒業を迎えた。障害のある学生も活動に参加し、共にキ

ねた。支援者でなく同じ大学の学生として一緒に学びながら卒業できた」と語った。

聴覚障害があり、支援を受けながらメンバーとしても活動した法学部卒の氏原秋里さん(22)は「受け入れてくれ



障害のある学生の支援に取り組んできた松山大の「障がい学生支援団体POP」の卒業生
20日午後、松山市道後町2丁目

キャンパスで学べる環境づくりに励んできた。

松山大では11年、聴覚障害のある学生の入学を契機に授業内容を書いて伝える「ノートテイク」の技術などを学ぶ講義を開講。受講生らで結成したPOPは、ノートテイクで聴覚障害の学生を支援したほか、全国規模のシンポジウム参加や障害のある受験生の見学の案内などに取り組んできた。

1年生から活動した人文学部卒の鎌田泰地さん(22)は「手話やノートテイクをやったことがなく、練習を積み重

る仲間との交流を通じて自分の表情も柔らかくなった。支援されるだけではなく、一緒に支援を考えることも楽しかった」と振り返った。

卒業式では、手話通訳と字幕表示が導入され、後輩のメンバーが音声情報をパソコン入力する「パソコンテイク」を担当。リーダーを務めていた人文学部卒の石川美穂さん(22)は「周りのちょっとした気遣いで誰もが同じように大学生活を送れるよう、築かれた支援体制を受け継いでほしい」と願った。